

しもつまコミュニティ



「住み慣れた地域」が「暮らしやすい地域」となるために…

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などが増加するなか、新型コロナウイルスの感染拡大以降、生活スタイルの変化により、人や地域のつながりが希薄化し孤立・孤独を感じる人が増えていると言われています。

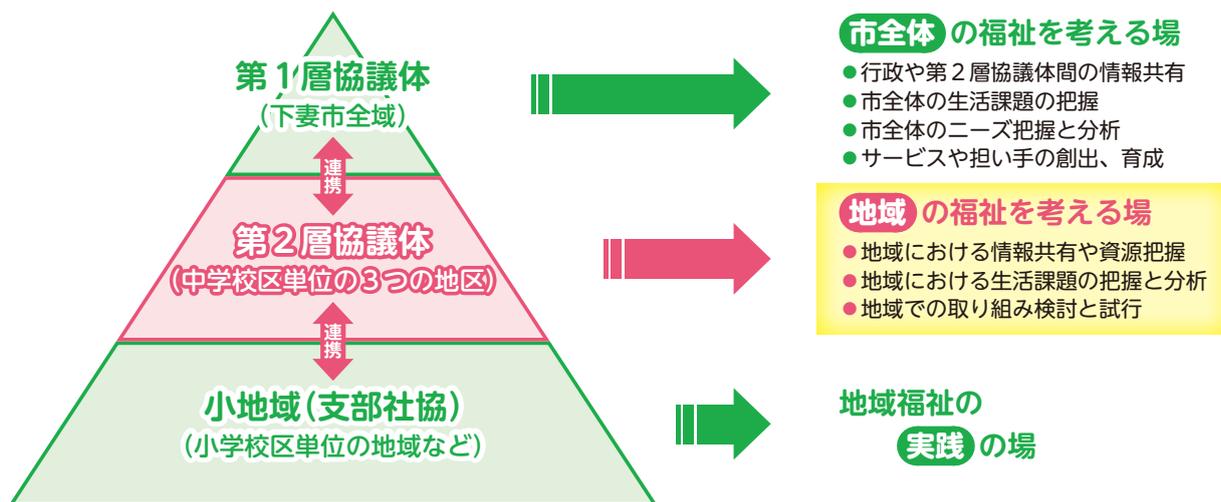
生活支援体制整備事業では、年齢を重ねても“住み慣れた地域で安心して暮らし続ける”ことができるよう、地域にお住まいのみなさんをはじめ、行政、ボランティア、民間企業などの多様な団体と協力しながら、お互いに支え合う地域づくりを目指しています。



活動の中心は、中学校区ごとの『第2層協議体』

下妻市では、地域課題の発掘や解決策などを話し合う『協議体』を設置しています。そのなかでも取組みの中心を担うのは、中学校区ごとに設置された『第2層協議体』です。

下妻市社協では、令和6年度より各地区に担当の生活支援コーディネーターを配置し運営を支援しています。



下妻の『第2層協議体』をご紹介します！

地域・市・社協が一緒になり“高齢になっても安心して暮らせるように、自分の住む地域がこうなったらいいな…”を、気楽におしゃべりしながら話し合っています。

どなたでもご参加いただけますので、ご興味のある方は社協までお問い合わせください。



名 称：下妻地区協議体「さぬま」
開催日：第3水曜日 13：30～15：00
場 所：福祉センター砂沼荘



名 称：東部地区協議体「チーム・ファイト！」
開催日：第2月曜日 13：30～15：00
場 所：市役所



名 称：千代川地区協議体
開催日：第4火曜日 9：30～10：30
場 所：千代川公民館



東部つくし会によるお楽しみサロンが始まりました

6月10日（月）中郷ふるさとコミュニティセンターにおいて中郷地区を対象としたお楽しみサロンが開催されました。このサロンは、ボランティアサークル「東部つくし会」が“ご近所の皆さんと一緒に食事や楽しい時間を過ごす”ことを目的として開催しており、当日は浜木綿朗読の会による朗読や、交通安全母の会下妻支部長 塚田ヒロ子様による交通安全講話の後、彩り豊かな手作りの食事を近所の皆さんとボランティアさんが、一緒に食べながら楽しいひと時を過ごしました。

東部つくし会では、地域の方々と協力をしながら今後もお楽しみサロンを開催予定です。ご期待ください。

